

すべてのこどもたちにゆきとどいた教育を

# ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会ニュース

NO.12 2017年7月13日 ゆきとどいた教育をすすめる北海道連絡会

## 「全国署名スタート集会」に全国から教職員・保護者・高校生が参加



教育予算増額、少人数学級の前進、私学助成拡充、教育の無償化などを求めて7月7日、東京都内で「ゆきとどいた教育を求める全国署名スタート集会」が開催されました。

北海道は、高教組2名、道教組1名、私教組2名が午前中の要請行動から参加しました。1989年に始まった教育全国署名は、今年で29年目を迎えます。これまで集めた署名数は、4億5000万筆になります。去年は、私学・公立合わせて約650万筆でした。

スタート集会で基調報告した「全国私学助成をすすめる会」の山口直之さんから、運動によって「教育無償化」の前進や給付制奨学金の創設などを実現してきたこと、さらなる前進・拡充が求められていることを報告しました。

パネルディスカッションでは、高校生、保護者、教職員が登場し、高校生から「お金の心配なく進路を選べたらいいなあと思っています」との発言がありました。

その後、各都道府県から今年の署名目標を発表し、ステージに並び記念撮影を行いました。

北海道は、公立8万、私学10万、あわせて18万筆の目標を発表しました。

### 公立学校意思統一集会を開催

午前中、衆議院第2議員会館において公立関係の意思統一集会を開催しました。全教の中村委員長から挨拶があり、共産党の畑野衆議院議員、吉良参議院議員も参加して、国会情勢や都議選、給付制奨学金などについての報告がありました。その後、各省庁、PTA団体などへ要請行動に出かけました。



左から私教組本間書記、鈴木さん、高教組本多さん